

## よくある質問集

Q.

国際言語文化研究科博士前期課程にはどうしたら正規入学できますか？

A.

国際言語文化研究科で行う入学試験を受験し、合格する必要があります。

試験日は、日本語文化専攻は9月、国際多元文化専攻は9月と2月になりますが、詳しくは国際言語文化研究科前期課程学生募集要項をご覧ください。

国によっては渡日のために受験のためのビザを申請する必要があります。

現状では多くの学生が研究生の期間を経てから受験します。

Q.

国際言語文化研究科博士後期課程にはどうしたら正規入学できますか？

A.

国際言語文化研究科で行う入学試験を受験し、合格する必要があります。

試験日は7月と2月になりますが、詳しくは国際言語文化研究科後期課程学生募集要項をご覧ください。

国によっては渡日のために受験のためのビザを申請する必要があります。

Q.

国際言語文化研究科博士前期課程の募集要項はどこへ請求しますか？

A.

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室 ([gen-jim@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gen-jim@adm.nagoya-u.ac.jp)) に請求してください。

Q.

国際言語文化研究科博士後期課程の募集要項はどこへ請求しますか？

A.

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室 ([gen-jim@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:gen-jim@adm.nagoya-u.ac.jp)) に請求してください。

Q.

博士前期課程の過去問題を入手できますか？

A.

インターネットで閲覧できます。外国語の試験は、著作権の関係によりインターネット上で全ては公表されていません。国際言語文化研究科教務課(文系総合館)で過去問題を閲覧することができます。コピーや貸し出しはできません。閲覧は、土曜、日曜、祝日、大学が定める休日および入学試験前日を除く8時30分から17時までです。

Q.

研究生への応募はどのようにしますか？

A.

留学生相談室にエントリーシートと研究計画書を送ってください。

エントリーシートは留学生相談室に請求してください。その際、希望する講座、あるいは、希望する指導教員の氏名を明記してください。

研究計画書は、A4で2500字程度(日本語)です。

なお、日本語教育学講座、応用言語学講座、現在日本語学講座および日本語教育方法論講座を希望する場合は、指導を希望する教員に直接連絡を取ってください。

また、修士号取得(見込み)者も、指導を希望する教員に直接連絡を取ってください。

留学生相談室の連絡先

Email: [prospective@lang.nagoya-u.ac.jp](mailto:prospective@lang.nagoya-u.ac.jp)

URL: <http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~prospective/newpage2.html>

Q.

研究生の入学時期はいつですか？

A.

毎年4月と10月です。

4月入学の場合、エントリーシートによる募集要項請求手続きの締め切りは前年の

10月15日、出願締め切りは前年の11月15日です。

10月入学の場合、エントリーシートによる募集要項請求手続きの締め切りは同年の

4月15日、出願締め切りは同年の5月15日です。

Q.

奨学金はありますか？

A.

1年目から支給されるものもありますが、通常は渡日してから各自申請します。

名古屋大学の私費留学生のうち、奨学金受給者は約30%です。また、私費留学生への奨学金の多くは大学院生が支給対象者となっており、研究生を支給対象とする奨学金はほとんどありません。

Q.

授業料免除の制度はありますか？

A.

ありますが、大学院生が対象で、研究生は対象外です。

Q.

住む場所はどのように見つけますか？

A.

新規渡日の留学生のほとんどは名古屋大学の3カ所の留学生宿舎のうちの一つに入ることができます。ただし、6ヵ月後または1年後には退去しなければなりません。

その後は自分で住む場所を見つけてます。民間のアパートや市営・県営のアパートなどに申し込みます。

Q.

生活費はどの程度必要ですか？

A.

多くの留学生は、1ヵ月8万円から10万円程度で生活しています。

Q.

アルバイトはできますか？

A.

できます。留学生がアルバイトをする場合、事前に資格外活動の許可を得た上で、許可の範囲内で働くことができます。

名古屋大学では、原則として渡日後3ヵ月以内のアルバイトを禁じています。

Q.

研究生の研究期間はどれぐらいですか？

A.

6ヵ月から最長2年です。